

エリアウェーブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2731
 FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email : hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp

「理想のお母さん」

「鉄棒できたの。すごいね」

「泳げるようになったの。すごいね」

「いつも一番だね」

子どもが何かできた時にほめることは大切なことです。何よりほめられた子どもも誇らしげでうれしそうです。

子どもは本来ほめられるのが好きで、もっと頑張っ
てほめられたい、いい子でいたいと思います。

しかし、頑張っても成果のでない時もあります。右
の作文はそんな子どもが書いたものです。

もし、Aちゃんの親だったらどんな言葉かけをしま
すか？

Aちゃんのお母さんは、娘がピリでも、彼女を励ま
し認めてあげる言葉かけをしています。「なんでピリな
の?」「もっと速く走れないの?」などと声をかければ、
子どもは「自分はだめなんだ」「大したことないな」と
思い込み、頑張る気になれなくなってしまいます。そ
して、自分の存在自体を認められなくなってしまいま
す。

こんなふうに言えるお母さんが理想ですが、下の詩
はまさに我が家の朝の光景です。子どもにとってよか
れと思ってやっていることを子どもは望んでいないか
もしれません。こういった言葉は子どもの自立の芽を
摘んでいくといわれています。是非、気をつけたいも
のです。

朝、ぼくが学校に行くまで
おかあちゃんのいうことが
きまっている。

ぼくが服を着ていたら、
「早う顔を洗いや」という。

顔を洗っていたら、
「早う御飯食べや」という。

出かけようとしたら、

「時間割をちゃんとあわしたな」

「ハンカチ持ったか」

「はな紙いれたな」

「宿題は忘れてないな」

「早う行きや、おくれるで」

ぼくが次にしようとすることを
かならず先にいう。

毎朝、同じことを忘れんとういえるな。

〈小学男子〉吉岡たすく著より



『Aちゃんの作文』

私は走るのが、にがてです。おそいんです。学校で
競争したら、いつもビリです。

昨日もビリでした。

家に帰ってお母さんに、

「また、ビリやった」

と、言いました。そしたら、お母さんが、

「ビリでもだいじないよ。いっしょうけんめい走っ
たか。うん、いっしょうけんめいにやったら、それ
でええ。ビリでも、気にせんでええ。人には言えん
けど、ビリがあるから、一等もできるんや。みんな
が勝ったんは、お前のおかげや」

と、言いました。

私は、ホッとしました。

お母さんの顔を見ていて、私はお母さんの子どもに
生まれてきて、よかったなと思いました。

吉岡 たすく 《お母さんのいのり》



**「すてきなお母さんは
あかるくて あたたかくて
ちょっぴり抜けている」**

吉岡先生は、お母さんは「あか
るくて、あたたかくて、ちょっ
とぬけているのがいい」と。子
どもが学校へ行くときに、アレ
コレ言わずに一オクターブ高い
声で「いってらっしゃ〜い」と
送り出してくださいと言ってい
ます。そんな言葉を胸に、毎日
を心明るく過ごしていきたいと
思います。

人権のための講演会 「人として ともに生きる社会づくり」

峡東地域教育推進連絡協議会では、11月17日いちのみや桃の里ふれあい文化館において、人権のための講演会を実施しました。講師に山梨県ボランティア協会 副会長の岡 尚志先生を招き「人として ともに生きる社会づくり」という題で講演していただきました。

岡先生の体験・実践に基づく話は、当たり前前の方が当たり前前にならなかったと言われる私たちに指針を与えて下さるものでした。

「一所懸命」「出会いを大切に」「やれば出来る」「大人が愛情をもって接すれば子どもは変わる」という一つひとつの言葉に、会場に集まった参加者はうなずきながら共感していました。

傾聴する参加者



＜ 岡先生 ＞

♪ 岡先生のことばから ♪

◎ 「一所懸命」 「一生懸命より一所懸命」です。その時その時の出会いを大事に、出会いの中で自分を精一杯生かす。

そして、社会の中で人の役に立ち、人に喜ばれ自分も楽しい思いをして、心の財産を増やし自分も豊になっていく。

◎ 「人生は出会いである」 ハンス・カロッサの詩

人生は出会いである。その出会いは特別な人にしか招待

状はこない。しかも、その出会いはあなたの人生で2度とやってこない。招待状を失ったり、安易に見過ごしてしまえば、あなたの人生には2度とやってこない。

私たちは多くの人との出会いをもちます。岡先生の話から、出会いの時、その時を大切にできる人生を送りたいと思いました。



山梨市英語科学習

11月24日、山梨市立岩手小学校で英語科教育拡大研究会が開催されました。平成21年度より文部科学省の「教育課程特例校」の指定を受け、県内で唯一「英語科」を設置し、全学年で英語教育に取り組んできました。

この日は、3年間の成果を披露するとともに英語教育のさらなる充実と発展を目指して、3年生と5年生の公開授業とパネルディスカッションによる研究会が行なわれました。

公開授業では、HRT（学級担任）・ALT（外国語指導助手）・JTE（日本人英語教師）や学習ボランティアの先生がそれぞれの役割に応じて授業を進め、児童は英語訳の「学園天国」を歌ったり、好きな教科を尋ね合うインタビューゲームをしたりと、楽しそうに授業を受けていました。



直山木 綿子
教科調査官

研究会では、文部科学省の直山木綿子教科調査官や市内小中学校教諭などのパネリストが、英語教育の効果や実践について、参加した教育関係者と意見交換を行いました。

★岩手小学校ではコミュニケーション能力の育成を目指すと共に、発達段階に応じて「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」などをバランスよく指導できるよう教育課程を編成しています。山梨市では平成24年度から、山梨北中学校区の4小学校において、英語科学習に取り組めます。



フラックボックスゲーム（3年生）



「What subjects do you like?」
（5年生）

笛吹市義務教育振興会議

12月3日、笛吹市八代総合会館において、第47回 笛吹市義務教育振興会議が開催されました。「合わせよう顔と顔、つなげよう心と心」～子どもたちの生活習慣を改善する実践を通して～をテーマに、会場には「保育士・幼稚園教諭・小・中学校の教諭」「PTA」「教育行政」の教育関係三者が集いました。

はじめに、未来を担う笛吹の子どもたちの育成の取組状況について、基調報告がありました。パネルディスカッションでは、コーディネーターの進行でフロアの参加者を交えたディスカッションもあり、地域の子どもは地域で育てるという意思確認のもと、それぞれの立場から、「何をすべきか、できることは何か」と真剣に話し合いが行われました。

笛吹市では、幼い頃に身につけた生活習慣は大人になっても持続するものとし、「あいさつ 聞き言葉遣い」の取組も行い、この呼びかけが地域でも浸透してきています。



パネリストの萩原一宮西小PTA会長(左)と筒井笛吹市教育委員会指導主事(右)



コーディネーターの丸山笛吹市教育委員会生涯学習課青少年育成コーディネーター

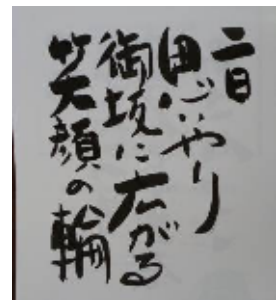


フロアを交えたディスカッションの様子

御坂町 地域・家庭づくりのための標語「日めくりカレンダー」

御坂町 PTA 連絡協議会と御坂地域教育協議会では「子どもの健全育成を図る地域づくり」～地域の子どもは地域で育つ～とし、今年度は御坂町の地域づくり、家庭教育の指針となる「標語」を児童・生徒から募集しました。

応募作品の中から代表作品31点を選び、カレンダーを作成。各家庭・地域に配布し地域ぐるみで取組がはじまりました。



親子しめ縄飾り教室

12月17日、山梨市立八幡小学校で、東山梨社会教育の会主催の「親子しめ縄飾り教室」があり、7組の親子14名が参加しました。

本来なら、縄は一人で編むのですが、参加者のほとんどが初体験のため、親と子の共同作業となりました。

〈親子で協力しながら〉



一人がわらの先を押さえ、一人がねじりながら編んでいる姿が、微笑ましい光景でした。

また、参加者はしめ縄の由来や飾りの説明にも興味深く聞き入っていました。

参加者の感想

★はじめてだったけど、楽しかったです。

★ものづくりが好きなので親子で楽しくできました。

★上手にできてよかったです。来年も作りたいです。



〈完成したしめ縄飾りと一緒に！〉

平成24年度 山梨ことぶき勸学院 峡東教室生徒募集

山梨県教育委員会は、下記の内容で平成24年度ことぶき勸学院の学生を募集いたします。高齢者の学習ニーズに応え、それぞれの知識や技能を磨き、生きがいとともに地域文化の指導者として貢献する資質を身につける場です。

- ◇ 入学資格： おおむね60歳以上の方
- ◇ 授業日： 主に金曜日（年間19日）2年間
- ◇ 学習場所： 東山梨合同庁舎
- ◇ 基本学習費： 8,000円
- ◇ 25年度から： 学習場所は甲府が中心になります
学習内容は改訂されます
基本学習費を引き上げる予定です
- ◇ 募集期間： 2月1日（水）～3月30日（金）



授業の風景

- ◇ 申し込み・問い合わせ先

峡東教育事務所(東山梨合同庁舎内)
〒404-0045 甲州市塩山上塩後1239-1
電話 0553-20-2731
担当 益田・石川

《 参考 》 学習内容

- * 高齢社会を生きる
- * ふるさと山梨に学ぶ
- * 日本の心を見つめる
- * 時代の潮流をとらえる
- * 地域を創る

山梨ことぶき勸学院祭（ステージ発表・作品展）

10月20日（木）、コラニー文化ホールにおいて、山梨ことぶき勸学院・大学院の合同による勸学院祭を実施しました。

東山梨学園では、「ずいずいずっころばし」「通りゃんせ」「あんたがたどこさ」を寸劇つきのメドレーで歌い、2部合唱の「花かげ」はハーモニカの演奏を加え叙情たっぷりに歌い上げました。最後は元気いっぱい「これから音頭」を踊り、会場からも手拍子をもらいました。

東八代学園では、毎年音楽構成劇に取り組み、今年は自然の驚異をテーマに、明治40年、石和地域をおそった大水害の事実をもとにした「おさんごじさんの大枯木」を発表しました。これは石和西小学校の橋田良子先生が構成や作曲をしたもので、ナレーションと歌と伴奏の素晴らしい作品となりとても好評でした。さらに、石和西小学校の音楽祭や笛吹市の元気まつりといった催しにもゲストとして演奏を行いました。

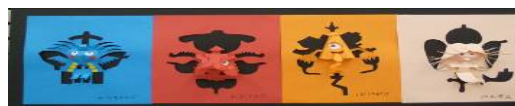
また、それぞれの学園において、生徒の部活動や趣味を生かした陶芸・写真・絵手紙・手芸・盆栽などの作品展も開催しました。



東八代学園・石和西小学校との交流会



東山梨学園
の展示作品



「ロボコンやまなし2011」競技大会で活躍！ ～産業技術短期大学校～

本校では、学生が学んだ知識や技術を活用し卒業研究としてロボット製作等に取り組んでいます。その成果を発揮すべく、11月19日、アイメッセ山梨（甲府市）において開催された「ロボコンやまなし2011」の「自律型ゴルフロボット競技」と「ソーラーカー競技」の2部門に出場しました。

人間のゴルフと同じようにロボットがホールにボールを入れるまでの打数を競う「自律型ゴルフロボット競技」部門では、残念ながら入賞を果たすことができませんでしたが、「ソーラーカー競技」部門では、本校から出場したソーラーカーが優勝、準優勝となりました。



「自律型ゴルフロボット」



「ソーラーカー」

ソーラーパネルで発電した電気エネルギーにより、競技コース上の様々な障害物をクリアしながら走行しゴールまでのタイムや距離を競う競技ですが、今回完走できたのは優勝したソーラーカー1台のみで本校の高いものづくりの技術を示すことができました。

アートセラピー教室（きっず みさか） By ART-KEY

12月9日、きっず みさか（御坂児童センター）では、アートセラピー教室を開催しました。

『アートを楽しむことで自分を素直に表現し、新たな自分自身を発見するきっかけに』と、ART-KEYのデザイナー天沼 操先生を講師に招き、ペットボトルのラベルデザインとランプシェードを制作しました。

子どもたちは、オイルパステルという特殊な画材で冷たいボトル・温かいボトルのデザインをしたり、カラーインクとボンドを混ぜ合わせステンドグラス風のデザインをしたり、それぞれが自由な発想で創作活動を楽しんでいました。

作品の完成後は、参加者や保護者、職員と共に鑑賞会を行いました。天沼先生は「完成した作品をお互いが鑑賞することで個性の違いを知る機会になり、コミュニケーションを広げる機会になります。」と言い、子どもたちの作品一つひとつに対して良い所を見つけてコメントをして下さいました。世界に1つのオリジナル作品を手にした表情の子どもたちと予想以上の出来に、保護者や職員から「普段見えない子どもたちの一面に気づくことができた」という言葉が印象的でした。



〈ランプシェード鑑賞会〉





山 梨 県 立 ろ う 学 校



本校は幼稚部・小学部・中学部・高等部の4つの学部からなる、県下で唯一の聴覚障害教育専門の学校です。幼稚園から高校までがひとつの学校の中にあると考えていただければと思います。

本校では、「運動会」と「学園祭」を隔年で行っております。今年度は『運動会』を実施しましたのでその様子と、近くの学校と行っている『交流及び共同学習』の2つの行事について紹介させていただきます。



第46回運動会

～ 10月1日(土)～



心配された雨もみんなの願いであがり、秋空の中「みなぎるパワー空までとどけ！」をテーマに、行われました。各学部単独種目（演技・遊戯）、応援（演技・競技）、保護者との共同種目（競技）、幼稚部から高等部まで合同のリレーや綱引きなどの競技と日頃の成果を披露した種目も多く、幼児生だけでなく参加した保護者や来賓の方々の心もひとつになり、瞳を輝かせて演技をしたり声援を送ったりしていました。



★ 交流及び共同学習について ★

学部	提携先	行 事 ・ 内 容
幼稚部	加納岩保育園	年に8回 ゲーム・たこあげ・設定遊び・リズム体操・うた等
小学部	山梨小学校	11月に持久走大会・山小ふれあいまつり 学年ごとに、授業交流もしている。
中学部	春日居中学校	1学期 授業交流・2学期 強歩大会（20Km） 3学期 席書作品交流 その他 両校学園祭や運動会の交流も行っている。
高等部	山梨高校 身延山高校	6月に学園祭参加、11月にリソウウォーク参加 9月に手話コミュニケーション部との交流 11月は総合芸術文化祭参加（手話ソングを歌う）

* 紙面の関係上全部を披露できませんが交流及び共同学習は近くの学校だけでなく、いろいろな団体とも行っています。

* 今年度は、関東聾学校卓球大会の主管校（4年に1度）で、小瀬スポーツ公園を会場に開催しました。その結果、本校の高等部3年生が個人の部で3位に入賞し、全国聾学校卓球大会に出場しました。